

環境大臣賞 稚内市恵北地区「香りとさえずりの杜」コミュニティガーデンづくり

企画者 : 稚内市歴史・まち研究会／稚内市恵北地区・増幌地区まちづくり委員会
 評価点 : 55年間放置され地域の負の遺産となっていた旧海軍通信所（敷地面積約64,000m²）に、宗谷地区の気候風土にふさわしい「香りの樹木」及び「実のなる樹木」を植栽し、野鳥を集め、市民の憩いの場を再生する。地域住民を中心に自主管理による地域コミュニティガーデンづくりを行うものであり、植栽・管理についても一般の方々から公募し、メモリアルツリーとしての登録を行うなど楽しみながら管理してもらう。

北海道
稚内市恵北地区（旧海軍大湊通信隊稚内分遣隊基別通信所分庁舎周辺）

「香りとさえずりの杜」
コミュニティガーデンづくり

一企画の目的一
55年間放置されていた旧海軍通信所周辺に「香りの樹木」と「実のなる樹木」を植栽し、野鳥を集め「市民の憩いの場」に再生する。
地域住民を中心とした自主管理によりコミュニティガーデンにする。

一香りのテーマ一
日本の最北端に相応しい、稚内市の市木「エゾヤマザクラ」と市花「ハマナス」を中心に、ハナリンゴ・ライラック・ラベンダー・スモモなど北国の香りの樹を植栽する。

一さえずりのテーマ一
当地区に生息する、シジュウカラ・カッコウ・ツツドリなどの、鳴き声が癒してくれる野鳥のため、実のなる樹木を植栽して「野鳥の広場」を作る。

●野鳥の水浴場
野鳥の水浴をウォッチング出来る絶好のスポット。山だけではなく草原に住む野鳥も多くみられ、野鳥の種類が豊富な地域である。



シジュウカラ ツツドリ

香ゾーンのイメージ

●コミュニティガーデン
敷地全体に合計500本の桜を植樹。市民が春の香りを感じられる空間となる。



●野鳥の広場
ハナリンゴ・ナナカマド（稚内市の市木）・スモモ・ラズベリーなど、食べられる実がなる樹木を植栽し、集まる野鳥への感謝と恵みの心をもって作る広場。



ハナリンゴ 10本 ナナカマド 10本 ラズベリー 10本 スモモ 10本

●花のアプローチ
入り口から丘の上まで、およそ250mの道沿いにエゾヤマザクラ・ラベンダーが植えられ、四季の野草も楽しめるアプローチとなる。



エゾヤマザクラ 100本 ラベンダー 300株



コケモモ 10本 アジサイ 10本
フサスグリ 10本 黒ユリ 100株

●見晴丘
クルミが繁り、アルメリアが植えられた丘からは西に利尻岳の山頂を鑑み、大自然を堪能出来る広場となる。



アルメリア 100株 クルミ 10本



旧海軍大湊通信隊稚内分遣隊基別通信所分庁舎 昭和6年建設

●香りの広場
戦前は住宅地だった場所を、初夏はライラック、夏はハマナス、そして長期に渡って香りを楽しむヘメロカリスが咲く「香りの癒しがある広場」に再生する。



ライラック 白10・紫20本 はまなす 白10・ハザ10本 ヘメロカリス 100株

稚内市歴史・まち研究会／稚内市恵北・増幌地区まちづくり委員会